

保育士国家資格

(福祉総合学部福祉総合学科子ども福祉コース)



保育士国家資格

(福祉総合学部 福祉総合学科子ども福祉コース)

I 保育士とは

保育士は、一般に保育所などの児童福祉施設やこども園において子どもの保育を行う者であり、平成15年11月の改正児童福祉法施行により国家資格となった。児童福祉法第18条の4によって、都道府県知事の登録を受け、「保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」と定義されている。

保育士が働く職域には、公立や民間の保育所をはじめ、こども園、児童養護施設、障害児入所施設などの児童福祉施設や地域の子育て支援施設、また、事業所内（企業や病院など）保育所などがある。

II 保育士をめざすには

本学の福祉総合学部福祉総合学科子ども福祉コースは、指定保育士養成施設である。本学子ども福祉コースで、厚生労働省指定科目を要件にならない全て単位取得すると、卒業と同時に保育士国家資格を取得することができる。

1. 本学の子ども福祉コースの目的は、本学の建学の理念のもと、指定保育士養成施設における専門的な学術研究を通して、国内及び国際社会において子どもの健全な成長を支える保育に貢献する人材を養成することである。
2. 子ども福祉コースの履修を希望するものは、入学年度の授業開始までに、所定の子ども福祉コース登録届を、福祉総合学部事務室に提出しなければならない。
3. 子ども福祉コースへの編入・転入はできない。
4. 保育士の国家資格取得に係る厚生労働省指定科目は別表の通りである。要件を全て満たさなければ保育士の国家資格は取得できないので、留意すること。
5. 保育実習及び保育実習指導の履修については、別に定める履修要件等を満たす必要がある。保育実習の諸手続きや詳細は、保育実習説明会において説明する。必ず説明会等には出席し、手続きの漏れや間違いがないようにすること。なお、保育実習の実習費は、実習年度に、別に定める額を納入しなければならない。
 - * 社会福祉士国家資格の取得もあわせて希望する場合は、国家試験説明会に必ず出席すること。
 - * 本学の福祉総合学部福祉総合学科子ども福祉コースに所属しないで、保育士の資格取得を目指す学生は、一定の受験資格を満たし、各都道府県で実施する保育士試験を受け合格することで、国家資格を取得することができる。

(別表)

指定保育士養成課程に関する科目

告示による教科目			対応する本学開設科目				
系列	教科目	単位数	科目名	単位	配当年次	備考	
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	情報メディア演習Ⅰ ジェンダーと福祉社会 サステイナブル社会論	2 2 2	1 1・2 1・2	「情報メディア演習Ⅰ」 「Fundamentals of EnglishⅠ」 「生涯スポーツ概論」 「スポーツ科学」を含む10単位以上選択必修	
	外国語	2以上	Fundamentals of EnglishⅠ Oral English for Children	2 2	1 1		
	体育	1	生涯スポーツ概論 スポーツ科学	2 2	2 1		
必修科目	保育の原理に関する科目	保育原理	2	保育原理	2	2	15単位以上必修
		教育原理	2	幼児教育原理	2	1	
		子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	1・2	
		社会福祉	2	社会福祉	4	1・2	
		子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	3	
		社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	2	2	
	保育の理解に関する科目	保育者論	2	保育者論	2	1	
		保育の心理学	2	保育の心理学Ⅰ	2	1	
		子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2	
		子どもの理解と援助	1	保育の心理学Ⅱ	1	2	
		子どもの保健	2	子どもの保健	2	2	
		子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	2	
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育・教育課程論	2	2	
		保育内容総論	1	保育内容総論	1	2	
		保育内容演習	5	保育内容演習(健康)	1	2	
			保育内容演習(人間関係)	1	2		
			保育内容演習(環境)	1	3		
			保育内容演習(言葉)	1	3		
			保育内容演習(表現)	1	3		
			保育の表現理解(音楽)	2	2		
			保育の表現理解(造形)	2	2		
			保育の表現理解(体育)	2	2		
保育の実習	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	2		
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	2		
	子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全	1	2		
	障害児保育	2	特別な保育ニーズの理解と支援	2	2		
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	2		
	子育て支援	2	地域における子育て支援	2	3・4		
総合演習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設)	2 2	2 3		
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設)	1 1	2 3		
	保育実践演習	2	保育・教職実践演習	2	4		
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	15単位以上	福祉文化論	2	1・2	
				地域福祉論	4	1・2	
				社会学	2	1・2	
				教育社会学	2	1	
	保育の対象の理解に関する科目			障がい者福祉論	4	1・2	
				心理学	2	1・2	
				臨床心理学	2	2・3	
				子どもの発達と相談	2	3・4	
	保育の内容・方法に関する科目			保育内容の理解と方法Ⅰ	2	3・4	
				保育内容の理解と方法Ⅱ	2	3・4	
地域ボランティア論		2	1・2				
地域ボランティア研修		2	1				
保育実習	保育実習Ⅱ	2	保育実習Ⅱ(保育所)	2	3		
	保育実習指導Ⅱ	1	保育実習指導Ⅱ(保育所)	1	3		
	保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅲ(施設)	2	3		
	保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅲ(施設)	1	3		

※保育士指定科目を履修し、福祉総合学科を卒業した学生は、社会福祉主事、児童指導員の各資格を取得できる。ただし、これらの資格は、専門機関・施設で担当職員として任用された後に有効となる任用資格である。

保育士資格・幼稚園教諭免許履修モデル

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
学科共通科目群 I (語学)・II (情報)	情報メディア演習 I ②* Fundamentals of English I ②*			
キャリア形成科目群	基礎ゼミ a ①* 基礎ゼミ b ①* 地域ボランティア研修② 福祉疑似体験②		ゼミナール I a ①* ゼミナール I b ①*	ゼミナール II a ①* ゼミナール II b ①*
専門基礎科目群	ジェンダーと福祉社会② 女性福祉論② 福祉文化論②			
専門科目群 I (福祉関連科目) 指定保育士養成課程に関 する科目	スポーツ科学② 保育者論② 幼児教育原理② 子ども家庭福祉② 社会福祉④ 保育の心理学 I ② Oral English for Children ②	保育の表現理解 (音楽) ② 保育の表現理解 (造形) ② 保育の表現理解 (体育) ② 生涯スポーツ概論② 保育の心理学 II ① 保育・教育課程論② 保育内容総論① 保育内容演習 (健康) ① 保育内容演習 (人間関 係) ① 特別な保育ニーズの理解 と支援② 子どもの食と栄養② 子どもの保健② 子どもの健康安全① 乳児保育 I ② 乳児保育 II ① 保育原理② 社会的養護 I ② 社会的養護 II ① 保育実習 I (保育所) ② 保育実習指導 I (保育 所) ① 子ども家庭支援の心理学 ②	保育内容演習 (環境) ① 保育内容演習 (言葉) ① 保育内容演習 (表現) ① 子どもの発達と相談② 子ども家庭支援論② 保育実習 I (施設) ② 保育実習指導 I (施設) ① 保育実習 II (保育所) ま たは III (施設) ② 保育実習指導 II (保育 所) または III (施設) ①	保育・教職実践演習② 地域における子育て支援 ②
専門科目群 I (福祉関連科目) 指定保育士養成課程に関 する科目 (15単位以上選択必修)	社会学② 心理学② 教育社会学② 音楽入門②	保育内容指導法② 臨床心理学②	保育内容の理解と方法 I ② 保育内容の理解と方法 II ② 幼児国語② 幼児文化論②	
専門科目群 I (福祉関連科目) 幼稚園教諭免許のみに関 係する科目		子どもの生活と社会②	子どもの権利と福祉② 日本国憲法② 幼児教育研究 (遊びの援 助) ② 幼児教育方法論② 子どもの人間関係と観察 ② 特別支援保育②	教育実習 (事前及び事後 指導を含む) ⑤
年次単位数	40	40	35	11
累積単位数	40	80	115	126

○のなかの数字は単位数を表す。

*印の付した科目は学部の必修科目である。

※下線科目は幼稚園教諭課程科目である。

保育士資格・社会福祉士受験資格取得履修モデル

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学科共通科目群 I（語学）・II（情報）	情報メディア演習 I ②* Fundamentals of English I ②*			
キャリア形成科目群	基礎ゼミ a ①* 基礎ゼミ b ①* 地域ボランティア研修② 福祉疑似体験②		ゼミナール I a ①* ゼミナール I b ①*	ゼミナール II a ①* ゼミナール II b ①*
専門基礎科目群	ジェンダーと福祉社会② 女性福祉論② 福祉文化論②			
専門科目群 I （福祉関連科目） 指定保育士養成課程に関する科目	スポーツ科学② 保育者論② 幼児教育原理② 保育の心理学 I ② 音楽入門②	生涯スポーツ概論② 保育原理② 社会的養護 I ② 子ども家庭支援の心理学② 保育の心理学 II ① 子どもの食と栄養② 子どもの健康と安全① 保育・教育課程論② 保育内容総論① 保育内容演習（健康）① 保育内容演習（人間関係）① 特別な保育ニーズの理解と支援② 乳児保育 I ② 乳児保育 II ① 社会的養護 II ① 保育の表現理解（音楽）② 保育の表現理解（造形）② 保育の表現理解（体育）② 保育実習 I（保育所）②	子ども家庭支援論② 保育内容演習（環境）① 保育内容演習（言葉）① 保育内容演習（表現）① 保育実習 I（施設）② 保育実習指導 I（施設）① 保育実習 III（施設）② 保育実習指導 III（施設）①	保育・教職実践演習②
専門科目群 I （福祉関連科目） 指定保育士養成課程と社会福祉士指定科目の両方に含まれる科目	子ども家庭福祉② 社会学② 社会福祉④ 心理学②	地域福祉論④ 子どもの保健② 障がい者福祉論④ 保育実習指導 I（保育所）①		
専門科目群 I （福祉関連科目） 社会福祉士指定科目	社会調査② ソーシャルワークの基礎① 相談援助の基礎と専門職④	ソーシャルワーク演習 I ②	子どもの権利と福祉② ソーシャルワーク論 I ④ ソーシャルワーク論 II ④ 社会保障論④ 生活保護論② 高齢者福祉論④ 福祉の財政と計画② 医療福祉②	ソーシャルワーク演習 II ② ソーシャルワーク実習⑥ ソーシャルワーク実習指導② 就労支援① 司法福祉① 福祉経営論②
専門科目群 I （福祉関連科目）		社会福祉専門研究 I ② 社会福祉専門研究 II ②	社会福祉応用研究 I ② 社会福祉応用研究 II ②	
年次単位数	43	48	41	18
累積単位数	43	91	132	150

○のなかの数字は単位数を表す。

* 印の付した科目は学部の必修科目である。

※社会福祉士指定科目への読み替え科目（地域福祉論を除く、次頁）を確認すること。

子ども福祉コース 社会福祉士指定科目対応表

厚生労働省による 法令指定科目	本学開設科目			子ども福祉コース読み替え科目		備考		
	科目名	科目名	単位	履修 年次	科目名		単位	
①人体の構造と機能及び 疾病*	医学知識	2	1・2	子どもの保健	2	*受験資格として は、法令指定科目 ①～③のうち1科 目以上選択必修		
②心理学理論と心理的支 援*	心理学	2	1・2	心理学	2			
③社会学理論と社会システ ム*	社会学	2	1・2	社会学	2			
④現代社会と福祉	現代社会と福祉（職業指 導を含む）	4	1・2	社会福祉	4			
⑤社会調査の基礎	社会調査	2	1・2					
⑥相談援助の基礎と専門 職	相談援助の基礎と専門職	4	1・2					
⑦相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅰ	4	2・3					
⑦相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅱ	4	2・3					
⑧地域福祉の理論と方法	地域福祉論	4	1・2					
⑨福祉行財政と福祉計画	福祉の行財政と計画	2	1・2					
⑩福祉サービスの組織と 経営	福祉経営論	2	2・3					
⑪社会保障	社会保障論	4	2・3	障がい者福祉論	4	**受験資格として は、法令指定科 目⑰～⑱のうち 1科目以上選択 必修		
⑫高齢者に対する支援と 介護保険制度	高齢者福祉論	4	1・2					
⑬障害者に対する支援と 障害者自立支援制度	障がい者福祉論	4	1・2					
⑭児童や家庭に対する支 援と児童・家庭福祉制 度	子ども家庭福祉論	4	1・2				子ども家庭福祉 子ども家庭支援論	2 2
⑮低所得者に対する支援 と生活保護制度	生活保護論	2	2・3					
⑯保健医療サービス	医療福祉	2	2・3					
⑰就労支援サービス**	就労支援	1	2・3					
⑱権利擁護と成年後見制 度**	権利擁護論	2	2・3				子どもの権利と福祉	2
⑲更生保護制度**	司法福祉	1	2・3					
⑳相談援助演習	ソーシャルワークの基礎	1	1	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1			
㉑相談援助演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2					
㉒相談援助演習	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	3					
㉓相談援助実習	ソーシャルワーク実習	6	2					
㉔相談援助実習指導	ソーシャルワーク基礎実 習指導	1	1					
㉕相談援助実習指導	ソーシャルワーク実習指 導	2	2					